

湘南にのみや 議会だより

第169号
9月定例会号
発行：平成30年10月25日



- 平成29年度決算
- 小中学校エアコン導入に向けて
平成30年度補正予算で設計委託料
町民による陳情・議員提出議案
- 町長ら特別職3名の給与2か月分3割減額
- ラディアンに公衆無線LAN設置

第39回 二宮町社会福祉大会
「車いす体験」
9月29日(ラディアン)

9月定例会 (9/7~10/1)

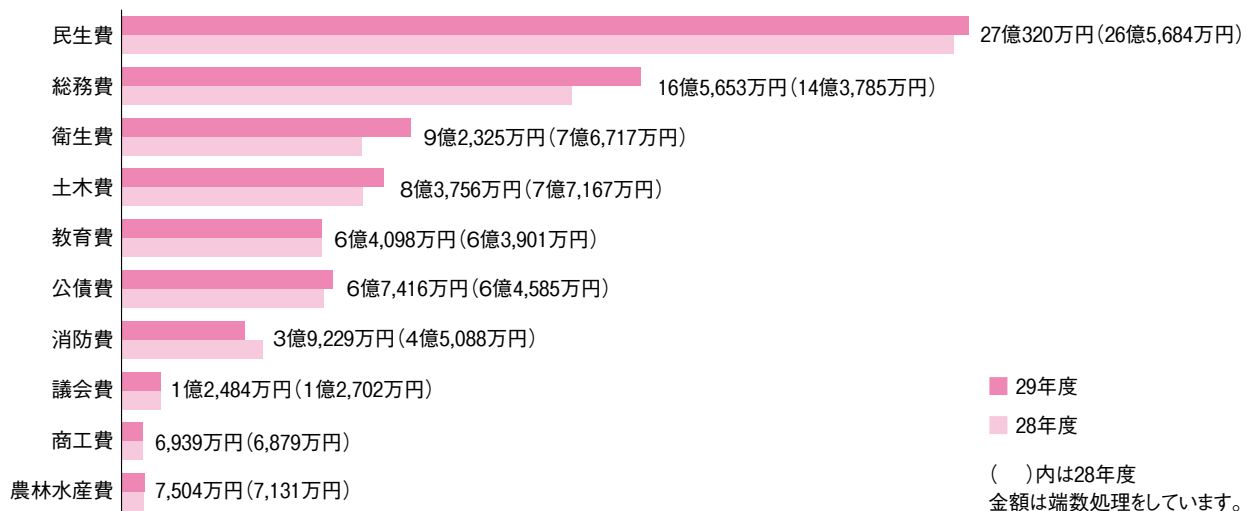
◆平成29年度決算審査と討論	2~3
◆決算案に対する総括質疑(2名)	4
◆議案、陳情、補正予算	5~7
◆一般質問(5名7件)	8~10
◆委員会の活動報告	11
◆編集後記	12



平成29年度決算 税金はどのように使われた？

平成29年度一般会計決算 80億9,723万余円
特別会計合わせ 159億7,087万3千余円を可決

※いずれも歳出



会計名		歳入	歳出	採決結果
一般会計		83億7,335万6千円	80億9,723万5千円	7対6で可決
特別会計	国民健康保険	38億5,682万1千円	37億2,025万2千円	8対5で可決
	後期高齢者医療	9億633万円	8億7,134万7千円	8対5で可決
	介護保険	24億2,921万2千円	23億5,083万4千円	8対5で可決
	下水道事業	9億4,466万1千円	9億3,120万6千円	12対1で可決

決算審査特別委員会 審査意見

決算審査特別委員会が出された多くの
要望を8つの意見にまとめた

- 1 町職員の働き方改革に関し、実情を把握の上、勤務体制の最適化を図られたい。
- 2 各種事業は目的と効果を検証し、整理統合を図られたい。
- 3 役場新庁舎は、町民の利便性に加え、町の価値を高める整備を求める。
- 4 防災・支援にかかる情報難民・買物難民の解消を図られたい。
- 5 子どもや高齢者などへの虐待防止策を強化されたい。
- 6 選挙における移動困難者のために、巡回投票などサポート策を検討されたい。
- 7 エアコン設置に伴い、併せて環境負荷軽減策を検討されたい。
- 8 吾妻山公園の管理運営経費の見直しを図られたい。

職員の残業代未払い、庁舎整備手法調査委託費、 特別教室へのエアコン設置、コミバス運行経路 etc.

9 議員が白熱の討論！

*討論順に記載
*本人の原稿をそのまま
掲載しています。

賛成討論

一般会計
7対6で可決

反対討論

未来につながる町づくり

桑原英俊

平成29年度は、必要な施策について選択と集中の視点を持って見直しを行った。中長期的な視点を持って、未来につながる施策を推進したことで、「ずっと住み続けたいまちづくり」に取り組んだ。

厳しい財政状況の中、最善の決算

前田憲一郎

厳しい財政状況に置かれた中で、自主財源の決算額に対する割合が前年度に比べ4.8ポイント増加した点等を評価。現状における最善の歳入・歳出決算であると認め、今後の町民に対する行政サービスに期待する。

時間外手当不払いは29年度だけに集約できない

根岸ゆき子

想定外の高額納税による変動はあったが概ね予算どおり。不払い問題の一方で働き方の改善にも取り組んできた。なによりも町民と向き合い、職員のみじめに働く土壌を、創造あふれるまちづくりに活かしてほしい。

高齢者福祉・子育て支援・健康づくりを評価

小笠原陶子

学童保育の民間委託、コミバス運行経路見直しで利用者増、未病センター設置で健康管理が進む等を評価。残業未払いの発覚が問題視されたが、12年前の過重労働による痛ましい事件以降、議会は随時改善を提言してきた。



9月21日に視察
「大磯町リサイクル
センター」
*二宮町のペットボトル、
プラごみを手作業で分別

町民サービス後退させない改革と先進的協働を

一石洋子

条例違反の決算に反対。ボトムアップの知恵を結集し悪しき慣例を洗い出し改革せよ。未来に向けた施策に大胆な町民協働で取り組み、町民の先進性に沿う新しい公に挑戦を。人を活かし、人がつながる故郷を証明するリベンジ求む。

抜本的に事業・業務を見直し適正な人員配置を

露木佳代

全体的に事業・業務の見直しが甘く、新たに制度を導入する際の判断も疑問が残る。目的と効果、時間外手当も含めた経費などを把握し、担当外でも自分ごととして問題意識を持ち、抜本的にスクラップ&ビルドを行ってほしい。

公共施設再配置事業を急げ

野地洋正

移住・交流・体験イベント、商店連合会JOYカードとの連携、3学童の統一したサービス提供は評価。公共施設再配置事業の進捗、残業代不払いとなる条例違反があり反対。シフト制やフレックスタイム勤務の活用も望む。

国施策ではなく、町民要求に応える予算執行を

渡辺訓仁

公共施設再配置は面積削減ありき、マイナンバー関連で一般財源からの支出、生活道路補修や学校設備整備での遅れは問題。学童保育の公設公営化等子育て支援などは評価。時間外手当の不支給は不適切だが、今後の改善こそ重要。

条例違反の経費を含む決算を認定できない

添田孝司

条例違反の残業代不払いで一般会計及び下水道を除く3特別会計認定には反対。一般会計は、計画等作成にコンサルタント依存が多く、学校教育で、ICTや英語教育への投資不足や不正確な予算編成による多額の執行残は問題。

平成29年度決算に対し2議員が総括質疑

勤務実態を正確に把握し、業務改善を推進せよ

露木佳代議員



Q 二宮の特性を生かした二宮ならではの児童像、教育像を具体的に伺う。

A 児童像というより教育が目指すところを総合教育会議の中で教育長や教育委員と意見交換しながら進める。二宮は特性ある多彩な教育が行われているが、情報発信を強化して見える形にする。授業、放課後、日常で子どもたちの力が発揮できるような場面をつくる。

Q 力を入れてきた町民参加・参画の評価は。

A 審議会、ワークショップ、意見交換会、まちづくり移動町長室、アンケート、ホームページ、メール、パブリックコメントなど手法は多様にある。町民意見は部署横断的に受け止め、町政、計画、その執行に生かしている。評価は町民にさせていただくのが筋。

Q 人件費は事業や業務の整理、見直しを図る指標。時間外手当の支払いに制限があっては勤務実態を正確に把握できない。適切な量の業務を与え、適正な人員配置を行う必要があるが。

A 事業の見直しの取り組みは、行政改革大綱の中で実施。さらに、毎年行う行政評価で妥当性や有効性、効率性を考慮し、予算に反映するサイクルで進めている。町民にも影響があるので、丁寧に説明をして理解いただき、改善している。業務改善の取り組みは、限られた人数で増加する業務に適切に対応するため、組織をスリム化し管理職を削減、一般職員の増加を図るなどの機構改革を実施。残業はルールの中でやっているが、時間内に終わらないこともある。1人に負担がかからないよう調整し、上司が点検評価していくということを繰り返した結果、総時間数は減っている。

「情報公開請求した時間外の一覧」
総括質疑が報道され手当の未払いが明るみに

公共施設再配置事業はスピード感をもち成果を！

野地洋正議員



Q 商店連合会 JOYカードの連携事業は成果を出せたか。

A JOYカードの新規登録者数、満点引換枚数は増加、結果は目標の約半分ではあったが、健康意識と購買意欲の向上は図れた。今後も他の事業との連携を模索する。

Q 学童保育施策は、運営の民間委託、民間学童保育への補助金交付により改善されたか。

A 膨大な各種業務、責任の明確化など保護者の負担は軽減され、また3学童が共通認識を持ち、子どもや保護者に対応できるようになった。民間学童はより多くの子どもが通えるよう環境を整備した。

Q 公共施設再配置・町有地有効活用事業は、平成30年度予算を含め約5,000万円の支援業務委託を投げ進めているが、費用対効果は。

A 方針、実施計画により具体的取り組みを示しており、平成34年度には、学校施設も含めた公共施設全体の統廃合、複合化を再検討し計画を改定する。業務委託は効果が期待できるものに限り、町が方針を示したうえで依頼している。

Q 庁舎整備手法調査委託料は、過去の情報を整理しただけで、無駄ではなかったか。

A 現役場庁舎の耐震補強工法、適地、財源、スケジュール等を検証し、ラディアン周辺への移転が最善の策とする判断の基礎資料となった。

Q 施政方針に示さず突然表明した駅前町民会館閉館は、思いつき行政の表れではないか。

A 3月議会では、廃止または建て替えを早期に決定する旨答弁しており、利用者への説明、活動場所の振り替え先等の検討を行ってきた。スピード感をもち、説明責任を果たし進めてきた。



新庁舎はラディアン周辺のどこ？
現況調査したが結論は出ず！

条例と

契約など

●議会委員会条例の一部改正

議会運営委員会の委員の定数を6人から8人へ改正するもの。

近年、陳情の取り扱いや議事運営など議会運営委員会において協議事項が増加・多様化している。同委員会は地方自治法に基づき設置されており、その決定の拘束力・影響力は大きい。より多くの議員の意思を反映させるため委員数を全議員の過半数以上になるよう各常任委員会より4名ずつの計8名に改めた。

全会一致で可決

●し尿等下水道投入施設改修工事請負工事

9月5日の一般競争入札により、(株)クリタスが6億9,011万2千円で落札。

施設は、40年以上が経過し老朽化が進んでいる。河川放流から下水道投入へと変更するための施設として、躯体の補強とともに改修。

平成31年1月から着工、31年度中には完成予定。国・県の補助制度は無く、また広域化も困難であるため、町単独事業として計画を進めてきた。耐用年数は18年を見込む。

賛成多数で可決

●専決処分の承認を求めることについて 一般会計補正予算(専決処分)

株式に関する確定申告による住民税の還付金が当初の見込みよりも大幅に増え、補正予算を編成し、早急に還付する必要性が生じたため。

歳入の主なものは県民税徴収事務費委託金580万円、財政調整基金繰入金700万円、歳出の主なものは過誤納等還付金1,370万円。

全会一致で可決

※専決処分とは

地方公共団体の長が、急を要し議会を招集する時間的余裕がないなどの理由により、議会の議決・決定の前に自ら処理することをいう。

●特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

残業代未払いの条例違反により、町長、副町長、教育長の平成30年10月及び11月の給料を、月額から30%減額するもの。

賛成多数で可決

●生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

生涯学習センターに公衆無線LANの設置に伴い、インターネット接続料(1式200円)を廃止するもの。

全会一致で可決

報告

① 平成29年度一般会計継続費清算報告

平成28年度と29年度の継続事業の実績報告がされた。

各年度合計実績額は、高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画改訂計画事業に302万4千円、し尿処理施設改修実施計画及び実施設計策定事業に536万9千円、道路台帳電子化整備事業に1,387万9千円であった。

② 二宮町健全化判断比率及び資金不足比率の報告

・健全化判断比率

(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
判断比率	-	-	6.7	40.7
早期健全化基準	14.50	19.50	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

・資金不足比率

(単位：%)

判断比率	-
早期健全化基準	14.50
財政再生基準	20.00

普通教室へのエアコン導入に関する 議員提案 & 陳情

公立小中学校における空調設備設置の導入促進
に関する国、県への意見書の提出について

議員提出議案(4号・5号)

提出者 前田憲一郎

全会一致で可決

<提案理由>

学校衛生基準で示される教室内の気温は17度以上、28度以下に改正された。適切な教育環境を確保するためにはエアコンの設置が必要であるが、多大な費用負担が生じるため自治体規模による学習環境の格差が起こっている。これを解消するために国、県に下記を強く要望する。

<要望事項>

- ・国は、平成30年度予算における公立学校施設改善交付金予算を補正予算で確保し、国庫補助率を引き上げ、リースにも対応すること。
- ・県は、新たに補助制度を創設し設置を推進すること。また国に上記事項の要望書を提出せよ。

【賛成討論】

普通教室へのエアコン設置については推進するが、町単独で行うには財政面から不安を生じる。全国の子どもたちが、一律に良き教育環境のもと勉学にいそしめるよう整備するべきであり、国による費用負担は必須である。議会としても、1日も早い対応、対策を国および県へ求める必要があると考え賛同する。 野地洋正

【賛成討論】

児童生徒の命と安全を優先したエアコン設置を歓迎。全国の学校改修・耐震化やエアコン設置など年3,000億円必要の試算に対し、680億円の当初予算。国・県へ補助の増額を求めるのは当然。一方、陳情に先立つ議員提案の審議は町民意見を聴く機会を狭める問題がある。

渡辺訓任

二宮町立小中学校普通教室へのエアコン設置に関する陳情

陳情者 小野寺裕美(緑が丘)

全会一致で採択

<陳情理由>

猛暑日が増えるなか通学し、校舎内でも涼む場もないことから、鼻血や腹痛など体調を崩す子どもたちが保健室に行く状況がある。また多くの保護者から対応を危惧する声も上がっている。連日各地でかつてない熱中症の報告が続く中、安全な学習環境の整備を強く要望する。

<要望事項>

- ① 早急にエアコンを設置すること。
- ② エアコン設置まで教室の温度を下げる工夫や十分な水分補給など、児童生徒が熱中症にならないための配慮を徹底すること。
- ③ 国に予算措置を求めること。

【賛成討論】

設計予算が補正予算で確保された。それに続く事業予算の編成には、他の教育事業、施策を削ることがないように、エアコン設置に限らずトータルにグリーンカーテンなどの省エネルギー策もあわせて検討を求める。 渡辺訓任



昨年度設置した、二宮中学校音楽室のエアコン

補正予算

新庁舎整備に対する委員会の設置、目的に疑問を呈するなど2名の議員が反対

◆一般会計◆

2億4,224万4千円の追加

<主な歳入>

地方交付税増 1億1,996万9千円
繰越金 8,856万円

<主な支出>

財政調整基金積立 1億3,500万円
小学校空調整備工事設計委託 1,436万4千円

生涯学習センターホール冷温水発生機

改修工事 1,261万5千円

賛成多数により可決

◆4特別会計◆

243,937千円の追加

・国民健康保険 117,541千円
・後期高齢者医療 34,218千円
・介護保険 82,470千円
・下水道事業 9,708千円

全会一致で可決

人事案件

教育委員会委員に渡辺優子氏

教育委員会委員に任命するため、議会の同意を求められた。

渡辺氏は山西在住。任期は4年

全会一致で可決

各議員の議案・陳情に対する賛成・反対は？

	小笠原陶子	前田憲一郎	桑原英俊	二宮節子	杉崎俊雄	善波宣雄	露木佳代	野地洋正	渡辺訓任	一石洋子	根岸ゆき子	柳川駅司	添田孝司	二見泰弘	結果
議員提出議案名															
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出議案名															
41	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
42	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
43	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	可決
45	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
46	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
47	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
48	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
49	○	○	○	●	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	可決
50	○	○	○	●	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	可決
51	○	○	○	●	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	可決
52	○	○	○	●	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	可決
53	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
54	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
55	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情名															
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

※議案について、○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。
※陳情については、○は採択、●は不採択です。
※二見議長は採決に加わりません。

一般質問に5議員が登壇！

*本人の原稿をそのまま掲載しています。

前田憲一郎	・二宮町立小学校中学校の学校教育について何う
渡辺 訓任 (3件)	・地域密着型施設運営の早急な改善を求める ・国民健康保険税の負担軽減策について検討はいかに ・強化が求められる風水害対策について
二宮 節子	・乳幼児健康診査について
根岸ゆき子	・一色小学校区再生協議会の事業再編（見直し）と 各小学校区単位での再生・活性化に対して町の考えを問う
小笠原陶子	・快適な暮らしと環境を守るためのごみ削減と運用について



Q 学習指導要領の取り扱いについて、平成32年度より完全実施されるが、特に水泳授業についてはどのような観点で進めるのか。

A 「小学校及び中学校の学習指導要領等に関する移行措置並びに移行期間中における学習指導等について」指導要領に定められた学習内容の欠落等が生じないよう、新学習指導要領に定められた学習内容の着実な履修に向けて進めている。水泳については年3回で対応している。また、二宮町の先駆的な取り組みとして、小学校中学年の「外国語活動」、高学年の「外国語科」の導入について、二宮中学校の英語科教員が小学校3校を定期的に



前田憲一郎
議員

訪問授業を行い、小中の連携を意識した小学校教員の外国語の授業力向上に努めていく。

Q 教室の望ましい温度が、54年ぶりに改訂された。町は来年7月を目標に特別教室を含む合計約100教室に空調設備を完備すると発表した。そのための手順・対応は。

A 二宮町立小中学校の普通教室に空調設備を整備することを決定した。この夏の猛暑を受け、児童・生徒の生命の安全を第一に考え、来年の夏に向けた設置のために、9月補正予算に実施設計委託費を計上した。早い段階で整備費の補正予算を計上する。

Q 4月よりコミュニケーションスクールとなった

答

全教室に設置し
教育環境を充実する

問

確実にエアコン設置を！
水泳は指導要領を満たせ



涼しくなり読書が進みます
二宮中学校図書館

一色小学校の現状及び、来年4月より導入する他の4校の進捗状況は。

A 一色小学校では、見守り、学習支援、校内環境整備、地域交流などの各担当を決め、放課後子ども教室との連携も視野に入れ、一色小学校区地域再生協議会などの地域団体と協働し、活動が始まっている。来年度から始まる4校では、来年度以降の活動やメンバーについて、準備委員会で検討している。



渡辺 訓任
議員

問

地域密着型施設の
早急な改善を求める

答

法人経営は改善されない状況
施設運営の改善に務める

問

「網膜芽細胞腫」の周知と
「5歳児検診」導入は

答

「にのはぐ」と保育園・幼稚園
の巡回相談でフォロー



二宮 節子
議員

Q 昨年9月議会から提出した恒道会への意見書は活かされたのか。
A 町は施設を毎月訪問、施設運営の改善を要請。恒道会は県の経営改善計画の提出要請に応えないため、県は改善勧告を出した。
Q 「かわわの家」休止の噂は本当か。入居者の家族は強い不安を感じている。
A 休止の計画はない。仮にそういうことになれば、町はグループホームの定員増を図らねばならない。
Q 処遇改善加算・退職金の未払い分はどうなるのか。改善なしに職員は信頼は育たない。
A 退職者の不利益にならないように現理事長は考えている。昨年の処遇改善加算は7

9月で支払う。その代わりに給与の支払いを翌月払いに変更した。
Q 職員の資質・施設の安全については向上してきたか。事故の発生件数は。
A 「もとまちの家」ではケアマネジャーとの連携が奏功し、利用者増を見込む。かわわの家では運営改善を要請し、新管理者のもとで入所者の安全面に配慮、施設内の環境整備や職員の指導等を行った。
1事業所当たり事故発生件数は、町地域密着で昨年度は1・47で県平均より高かった。詳細な監査と指導で、今年度は減少している。
Q 風水害対策の強化を避難所の開設方法



風水害の危険が高まる
葛川の水位が上がった

の再検討、地区の防災計画・訓練に風水害を加えること、情報難民対策として防災ラジオの導入、時間雨量50mmの基準見直しを求める。
A 避難所の開設方法は見直していく。また、地区防災マニュアルに風水害対策を反映するよう進める。基準の見直しは統計や指針を研究する。
※他に 国保税の資産割の減額・一回納付額の減額を取り上げた。

Q 眼球内に発症する悪性腫瘍、網膜芽細胞腫は、乳幼児期における白色瞳孔の早期発見が重要で、第4期の転機には、視神経はもちろぬ、脳、肝臓、肺など全身に転移し死亡にまでいたる。幼い時期に発症するため、大人が異変に気づくことが重要であることから、乳幼児健康調査への詳細な説明と項目追加を問う。
A 乳幼児健康調査は特定の病気を見つけるものではなく、総合的な観点から万遍なく診る事が基本スタンス。町で作成の問診票は、医師会と相談はできる。
Q 早期弱視発見のためには、3歳児検診に眼科医が必要と思つが、二次検診には、小

児療育相談センターから、視能訓練士がきている。
Q 平成15年度より学校での健康調査項目の必須でなくなった色覚検査により、進路選択に支障をきたす事例が起きているが、町の検査状況は。
A 平成28年より、小学校4年生と中学校1年生に、「保健だより」でお知らせし、プライバシーに配慮して保護者同伴で希望者に行っている。
Q 乳幼児健康調査と就学時健康診断の間に5歳児検診を独自に取り入れている市町村が増えている。これは発達障害児の早期発見に有効であり、より良い支援に結びつけることが目的であるが、町の



子どもたちの
すこやかな成長は町の宝

見解は。
A 臨床心理士と保健師が、幼稚園・保育園に出向き、発達や言葉のおくれ、親子の関わり方の助言・指導し、保護者に対する育児指導、及び保育士・教諭等の支援をしている。
Q 5歳児検診導入の問題点や課題は。
A 問診票を作るなど予算もかかるが、集団の中での過ごし方も含めて、巡回相談でフォローはできている。

一般質問

Q 一色小学校校区地域再生協議会・地域活性化事業は、町の総合戦略に基づいて交付金を取得した3つの事業のうちの一つだ。計画には「地域コミュニティの維持が難しくなってきた」とある。一色小学校区をモデル地域として地域コミュニティの再生・活性化を図るため運営に関する人的及び財政的支援を行う」とある。町長は7月に直接協議会と話し、継続するならスクラップ&ビルドも必要だと伝えていた。協議会事業はモデルとして町が抱える地域課題の解決に浴せたのか。

A この3年で成果は上がった。町全体が進める事業の先導となったものや、地域で人の交流を創出したものもある。町も少子・高齢化、人口減少の時代を乗り切るために地域コミュニティを再生したいという方向性は持っているが、住んでいる人たちの思いと力がなければできない。そこにコミットしながら今後広げていく。どういう居心地のいいつながりを作るかは課題で、町の押し付けでなく地域にあった形で一人ひとりのつながりをもう一度作りなおしていく。

Q 再生協議会の活動は自治会・町内会という枠を超えてチャレンジした取り組みを、地域の既存組織にフィードバック・連携することによって活性化につなげようとする取り組みだ。町全体としても、



6部会を再編し、行政と共に歩む

このモデルは小学校区単位での活動や地域コミュニティの醸成に生かされる価値ある取り組みと思うが、今後町の考えは。

A 平成28年度の地区長研究会において地区割広域化をテーマに研究してもらった。小学校区を4地域で編成してはどうかという結果がある。まずは地域政策課を中心に地域同志がつながって活動していく共同体的あり方について検討する。



根岸ゆき子 議員

問

再生協議会の取り組みモデルは町全体に生かされるか

答

成果は上げた。共同体のあり方については検討する



小笠原陶子 議員

問

身体の不自由な方のごみ出し支援、ボランティア袋は

答

総合的なごみ出し支援策のチラシを作成し周知に励む

Q 町は、ごみ処理を持続可能な未来と地球環境を守るために、燃やすだけでなく、資源化にも重点を置いていく。容器包装リサイクル法に則った分類に変更して2年半が経過した。まだ違うものを容器包装のほうに混ぜてしまつ方もいる。町民の高齢化が進み、認知症や体が不自由になつても自宅で暮らすために、ごみ出し方法について、福祉的施策があるが、周知が不足している。ごみ出しサポートだが、シルバー人材センターの「ほっと安心ヘルパー」のゴミ出しは、住民税非課税世帯だけが利用できる。課税世帯でごみ出しが容易にできない方の支援が必要。社協の助け

合いネットワークや戸別収集システムなど情報をわかりやすくまとめてほしい。

A 総合的なごみ出し支援について情報を一つにまとめたチラシを作成し、早速、生活支援コーディネーターを中心に各地域の通いの場を通じて周知する。

Q 落ち葉や草は、ごみ広域化の前には剪定枝と一緒に無料で搬出できたが、現在は有料の袋に入れて出す。なるべく堆肥にして活用してほしい。個人ではコンポストの設置など進めているが、公共施設等においては極力堆肥化をすべきだ。また、都市公園などに落ち葉入れの設置を望む。

A 大規模な公共施設では自区内処理に努めている。現在、公園で落ち葉の管理をするところは公園愛護会の協力がある。愛護会設立のため、地区長連絡協議会や心ある方に声をかけていく。

Q 公園に隣接の方は公園からの落ち葉も清掃している。地域一斉清掃のときに配布の地域美化清掃専用ボランティア袋を個人支給する件は周知が足りない。

A 地域環境推進員の4月会議で伝えたが次回会議でも周知する。



総合的なごみ出し支援をまとめたチラシ完成

委員会の活動報告

総務建設経済常任委員会

「新役場庁舎整備について」

● 7月4日 開成町役場視察

<視察先の選定理由>

本年度着工された新庁舎が、全国で初めてZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）庁舎として認証を受け、補助金対象となっていることと、近隣でほぼ同規模の自治体であるため。

<目的>

新役場庁舎整備計画策定過程における「町民意見集約及び反映、事業費、規模、機能、エネルギー、補助金」についての聴き取り調査を行う。

<感想>

平成22年に、新役場庁舎建設にかかる町民アンケートを実施してから本年度着工に至るまで、全13地区の自治会に赴き、基本計画・基本設計・資金計画について説明会を開催するなど、8年をかけて、町民に対し十分な説明を行いながら準備を進めてきたという印象を持つ。

● 8月6日、8月24日 委員会開催

近々に基本構想・基本計画の素案が公表されるであろうことから、引き続き調査研究を深める必要があると意見は一致したが、次回定例会が『改選後』となるため、現委員会ではこの報告をもっていったん終了し、次期議会における活発な議論を期待することとした。

教育福祉常任委員会

「地域と学校のあり方について」

● 6月19日 委員会開催

コミュニティスクール化、小中一貫教育の導入、学区再編、学校統合、小保連携など各地先進事例の研究に引き続き、今後の学校のあり方として、学区再編・学校再配置を課題とすることを確認。

● 7月12日 埼玉県宮代町視察

小中一貫教育推進の背景と成果について、小中学校の適正配置、通学区の編成等に関する審議会の構成、運営、および合意形成の手法・学区選択制、英語教育について。

● 7月13日 東京都日の出町視察

高齢者福祉バスほかについて。

● 8月21・23・24日「シェアにのみや」開催

町内5会場で開催。出された意見を定量的に評価することは難しいが、町民は子育て・教育のビジョンがはっきり見えるまちづくりを求めており、見識・関心を示す重要な意見であった。二宮町の誇りとなるような、学校のあり方への町民の合意形成に向け、議会の役割を果たすべく研究・対話を進める必要がある。

現委員会ではこの報告をもって継続調査を終了し、次期議会において、重要な課題として継続して取り組むことを期待する。

議会基本条例推進委員会

～この1年間の取り組み～

とにかく議会を身近に感じていただきたくて！

- ①議会報告会&意見交換会の愛称を「シェアにのみや」とした。
- ②ラディアン展示ギャラリーで意見交換会や資料展示を行い、また託児付きの開催も可能とした。
- ③議会ホームページや議会傍聴ロビーの改善を図った。
- ④議会運営委員会の委員増を提言。

議会基本条例の精神がぶれないよう条例検証を行い、また議員間討議が町民から見えづらいという課題も、今後継続して改善に努めていく。



「シェアにのみや」資料展示
(ラディアン展示ギャラリー)

選挙

投票へ行こう！

「町長・議会議員選挙」

<投票日>

平成30年11月18日(日)

選挙権 **18歳以上** での
初の町政選挙！

*期日前投票など詳細は、
広報にのみや、ホームページ
にてご確認ください。



編

集

だ

よ

り



1年間お世話になりました



ぜひ町民の皆さまの
ご意見・ご感想をお
聞かせください。

編集委員

委員長
副委員長
委員

野地 洋正
根岸ゆき子
前田憲一郎
杉崎 俊雄
善波 宣雄
一石 洋子

袖ヶ浦海岸

「蛇籠 じゃかご」の危険！

平成19年の台風9号で、被害を受けた
海岸の浸食防止用として、鉄線で編んだ
カゴの中に石を詰めた「じゃかご」が破
損し、鉄線が露出！
けがの発生が心配されている。



草のように見える突き出た鉄線！



町民から改善を求める声があり、町、県へ
対応を要請、9月11日に管理者である国土
交通省が現地を視察確認した。

二宮町議会だよりは、多くの自治体とは異なり、
割付から校正に至るまで、議員主導で編集作業を
行っています。

1年間、このメンバーで「横書き」「文字大」「写
真増」「空白増」など、読みやすさを追求してきま
した。今後もより良い議会だよりを目指してまいり
ますので、ご意見、ご感想をお寄せください。

新編集委員による次号にご期待ください。



議会HPに入れるよ！
リニューアルしました

